



平成30年8月10日

各位

会社名 株式会社フルキャストホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長CEO 坂巻一樹  
 (コード番号 4848 東証第一部)  
 問い合わせ先 財務IR部長 朝武康臣  
 電話番号 03-4530-4830

業績予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに  
 剰余金の配当(平成30年12月期中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成30年2月9日に公表いたしました、平成30年12月期第2四半期連結累計期間(平成30年1月1日～平成30年6月30日)の業績予想値と決算値に差異が生じたのでお知らせいたしますとともに、通期連結業績予想につきましても下記の通り修正することといたしました。

また、当社は、平成30年8月10日開催の取締役会において、平成30年6月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を行うことを決議し、加えて、通期連結業績予想の修正に伴い平成30年12月期期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正について

## 1) 平成30年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値との差異(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,700	2,310	2,340	1,425	37.84
今回実績(B)	18,354	2,749	2,784	1,869	49.57
増減額(B-A)	654	439	444	444	—
増減率(%)	3.7	19.0	19.0	31.2	—
ご参考:前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	15,394	2,128	2,144	1,543	40.57

## 2) 平成30年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,000	5,000	5,080	3,185	84.71
今回修正予想(B)	37,780	5,620	5,700	3,819	101.43
増減額(B-A)	780	620	620	634	—
増減率(%)	2.1	12.4	12.2	19.9	—
ご参考:前期実績 (平成29年12月期)	32,066	4,424	4,406	2,994	78.87

### 3) 差異及び修正の理由

平成30年12月期第2四半期連結累計期間の実績につきましては、上期を通じて、顧客企業の採用状況が逼迫し、短期人材ニーズが想定を上回って推移したこと、及び当社グループが、逼迫する顧客需要に応えるに足る人材供給力を確保し、想定以上の売上高を確保できたことで、平成30年12月期第2四半期連結累計期間業績予想における各予想値を超過いたしました。

平成30年12月期通期連結業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間以降に関しても、顧客企業の人材ニーズが当社想定を上回る水準で推移し、当社グループが、逼迫する顧客需要を充足するに足る人材供給力を引き続き確保できると判断したため、平成30年2月9日に公表した平成30年12月期通期連結業績予想を上方修正いたします。

## 2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

### 1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成30年2月9日公表)	前期実績 (平成29年12月期中間配当)
基準日	平成30年6月30日	同左	平成29年6月30日
1株当たり配当金	14円00銭	14円00銭	12円00銭
配当金の総額	527百万円	—	455百万円
効力発生日	平成30年9月3日	—	平成29年9月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 配当金総額は、百万円未満を四捨五入して表示しています。

### 2) 平成30年12月期期末配当予想の修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成30年2月9日発表)	—	14.00	—	14.00	28.00
今回修正予想	—	—	—	16.00	30.00
当期実績	—	14.00	—	—	—
前期実績 (平成29年12月期)	—	12.00	—	14.00	26.00

### 3) 中間配当及び期末配当予想修正の理由

当社は、調整後当期純利益（※）に対する総還元性向 50%を目標とし、株主への利益還元の充実化を図る方針であります。

平成30年12月期の中間配当につきましては、業績等を勘案し、平成30年2月9日に公表した配当予想通り、1株につき14円の中間配当を実施いたします。

期末配当につきましては、前述の平成30年12月期通期連結業績予想の修正を踏まえ、平成30年2月9日に公表した配当予想14円から2円増配し、1株あたり16円に修正いたします。これにより、中間配当と合わせた当期の年間配当金予想は前期比4円増配となり、1株あたり30円となる予定です。

※ 調整後当期純利益は、繰越欠損金に対する繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益を言います。

以上